

記入例

別紙様式第3号

【重要】業績欄の記載は、記入例に準じてください。ただし、筆署名、タイトル、雑誌名、巻号、ページ、出版社、出版年月、ISBN番号、DOI、教員資格審査用学術雑誌リストの雑誌番号などの必要事項が明記されており、業績書において統一された様式による記載となっていれば問題ありません。

教育研究業績書

MS明朝(和文)およびTimes New Roman(英文)を使用。
フォントサイズ: 10.5

著書(本)の場合は、ISBN必須

日付: 2022年4月xx日

氏名: 島根 太郎

押印不要

申請者名にはアンダーライン

起算年(2017年)と最終年(2022年)は月まで記入、他は年のみ

1. 著書 A

※(一部の章を執筆した場合(単著あるいは共著))

1) 島根太郎・山口次郎: 植物病原菌が生産する毒素の研究法。植物病原性微生物研究法(鳥取一郎ら編)。ソフトサイエンス社、東京、pp 527-533, ISBN: XXX-XXXX-XXXX-XXXX, 2017.7

2) Shimane, T., Koyama, H. and Yamaguchi, J.: Genetic engineering of virus resistance. In: Molecular biology of rice (Tottori, I. et al. eds). Springer, Berlin, pp 257-281, ISBN: XXX-XXXX-XXXX-XXXX, 2018

※(1冊の本全体を執筆した場合(単著あるいは共著))

3) 島根太郎: 土と農業。日本植物貿易協会、東京、200頁, ISBN: XXX-XXXX-XXXX-XXXX, 2019

4) Shimane, T. and Yamaguchi, J.: Gibberellin receptor and its role in gibberellin signaling in plants. Annual Review of Plant Biology 58: 200-220 (Review), DOI: <https://doi.org/101016/xxxx.xxxx>, 2022.1

分担執筆の場合ページパート(pp)を明記

資格審査用雑誌リスト番号必須

著書業績として総説(Review)等を加える場合、(総説)または(Review)と記入し、原著論文同様リンク付DOIを記載

2. 学術雑誌 B (リスト掲載有)

1) 島次郎・山口博・湖山潤一郎*: ナシ黒斑病菌の雌蕊感染と果袋内果実の発病。園芸学研究〔雑誌リスト1315〕52: 779-784 (原著論文), DOI: <https://doi.org/101016/xxxx.xxxx>, 2017.11

リンク付DOI必須(番号のみは不可)

2) Shimane, T.*, Koyama, H.* and Yamaguchi, J.: Estimation of moisture availability over the river basin of the Loess Plateau of China based on remote sensing. Journal of Arid Environments [雑誌リスト追加予定] 68: 53-65 (Full Paper), DOI: <https://doi.org/101016/xxxx.xxxx>, 2019

リスト未掲載だが、資格審査委員会までに追加予定の場合

3) Yamaguchi, J.*, Tottori, I. and Shimane, T.: Temporal influences on Landsat-5 Thematic Mapper image in visible band. International Journal of Remote Sensing [雑誌リスト579], (Short communication), DOI: <https://doi.org/101016/xxxx.xxxx>, 2022.2 受理

論文カテゴリーを記載

受理年月日(印刷中の場合)

3. 学術雑誌 C (リスト掲載無)

1) Shimane, T., Koyama, H. and Yamaguchi, J.: Estimation of moisture availability over the river basin of the Loess Plateau of China based on remote sensing. Journal of Environments 68: 53-65 (Full Paper), DOI: <https://doi.org/101016/xxxx.xxxx>, 2019

4. その他 D

1)

- * 年代が古い順に西暦で記載(2022年1月の場合、2022.1と記載)
- * 起算年(2017年)と最終年(2022年)は月まで記入。他は年のみ記入
- * 雑誌名等は省略せず、学術雑誌リストに掲載のとおり記載(注意: 大文字の区別等)
- * 学術論文については、リンク付書式でDOI記載(番号のみは不可)
- * 雑誌名の後に、[]書きで“教員資格審査用学術雑誌リスト(最新版)(Excelファイル)”中の、雑誌の通し番号を記入すること。リスト未掲載だが、資格審査委員会までに追加予定の場合は、[雑誌リスト追加予定]と記載
- * 申請者がCorresponding Author(CA)は氏名右横に*を記入。複数CAの場合はすべてに記入。申請者以外がCAの場合、またCAの明記のない論文の場合は記入不要

(注) 全て西暦で記載する(例: XXXX年X月: XXXX.X)。